

記入例

捨印を押す場合、
印省略の部分に代表印を押して
ください。

(第1面)

(特定) 石油販売業開始届出書

提出する年月日

※事業開始前に提出してください。

○年 ○月 ○日

経済産業大臣 殿

「住所」について、法人の場合は謄本などに登記されている住所、個人の場合は住民票上の本人の住所です。「主たる事務所」は、実際に本社業務を行っている住所です。通常は届出者の住所と同じですが、登記上の本社と別の場所に石油販売部門がある場合は、その部門を記入してください。

出者 商号、名称 ○○商店
氏 名 ○○ ○
(法人にあつては、代表者の氏名)
住 所 ○○県○市○番地

印省略

(特定) 石油販売業を次のとおり行いたいので、石油の備蓄の確保等に関する法律第27条第1項の規定により、届け出ます。

1 主たる事務所の所在地	(郵便番号○○○-○○○○) ○○県○○市○○町○丁目○番地○○○ 電話番号 (○○○) ○○○-○○○○
2 営業所の所在地	
名 称	所 在 地
○○営業所	(郵便番号○○○-○○○○) ○○県○○市○○町○丁目○番地○○○ 電話番号 (○○○) ○○○-○○○○
○○給油所	(郵便番号○○○-○○○○) ○○県○○市○○町○丁目○番地○○○ 電話番号 (○○○) ○○○-○○○○
	(郵便番号) 電話番号 () -

- 備考 1 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。
2 「営業所」について記載しきれないときは、この様式の例により作成した書面に記載して、第1面の次に添付すること。

複数の給油所等を所有している事業所で、新たに営業所等を追加する場合は
変更届で提出してください。

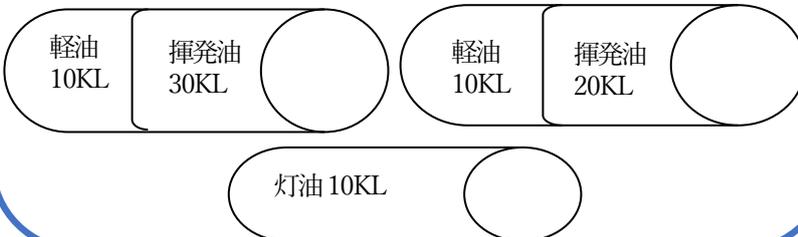
※販売形態に沿って以下のように単位、油種等を追加、変更しても構いません。

(第2面)

3 主たる販売施設の概要	
営業所の名称	〇〇営業所
貯蔵設備・計量器 (可搬式も含む) タンク、計量器など貯蔵設備が無い場合は斜線で消してください。	
(油種)	(タンク総容量) (タンク基数) 計量器数
a 揮発油	KL 基
b 灯油	〇KL 〇基
c 軽油	KL 基
d 石油ガス	〇トン 〇基
e	KL 基
営業所の名称	〇〇給油所 同時給油できるノズルの本数
貯蔵施設・計量器 (可搬式も含む)	
(油種)	(タンク総容量) (タンク基数) 計量器数
a 揮発油	〇 KL 〇 基
b 灯油	〇 KL 〇 基
c 軽油	〇 KL 〇 基
d	KL 基
e	KL 基
4 主たる仕入先	〇〇株式会社 (元売、卸業者等を記入)
5 販売しようとする石油の種類	揮発油、灯油、軽油、液化石油ガス
6 事業開始予定時期	令和〇年〇月〇日 やむを得ず事業開始後に提出する場合は、事業を開始した年月日を記入してください。

- 備考
- 1 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。
 - 2 「主たる販売施設の概要」は営業所ごとに記載すること。
 - 3 「主たる販売施設の概要」について記載しきれないときは、この様式の例により作成した書面に記載して、第2面の次に添付すること。

1つのタンクに異なる油種が仕切られている場合、各々の油種を1基と数えます。下記のような場合、
 揮発油のタンクは容量 20+30=50KL、基数2基
 灯油のタンクは容量 10KL、基数1基
 軽油のタンクは容量 10+10=20KL、基数2基 となります。



(特定石油販売業者のみ記載)

7 密接な関係を有する石油精製業者の商号、名称又は氏名			
8 石油の種類ごとの貯蔵施設の貯蔵能力及び所在地			
名 称		所在地	電話番号 () -
石油の種類ごとの貯蔵施設の貯蔵能力			
名 称		所在地	電話番号 () -
石油の種類ごとの貯蔵施設の貯蔵能力			

- 備考 1 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。
- 2 「貯蔵施設」について記載しきれないときは、この様式の例により作成した書面に記載して、第3面の次に添付すること。

第3面は基本提出する必要がありませんが、

以下の条件に該当する販売業者は第3面を記入の上

提出してください。

- ・年間の石油販売量が250万KL以上
- ・石油精製業者と密接な関係のある「特定石油販売業者」